

特集:教育支援活動

5 未来の豊かな環境・社会

次世代との共創共生

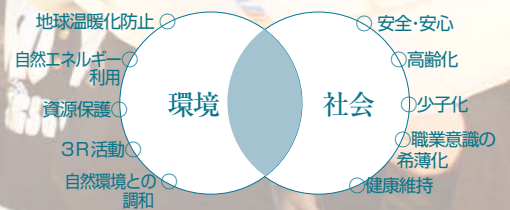


第1回 こどもエコ・ワークショップ
発電実験の様子



第3回 こどもエコ・ワークショップ
箱模型実験の様子

大和ハウスグループは、人が心豊かに生きる社会の実現を目指して、次代を担う子どもたちと一緒に、最も身近な「住まい」をキーワードとして、未来の豊かな環境・社会について共に考え、活動しています。



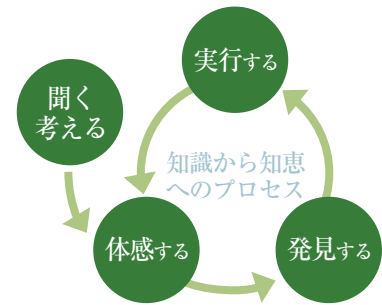
こどもたちの身近な『住まい』から「環境」を考える～こどもエコ・ワークショップ～

大和ハウス工業では、誰にとっても最も身近な『住まい』という環境を題材とし、次代を担うこどもたちに体感を通じて、楽しみながら「考え・感じ・発見する」ワークショップを2005年度から継続して実施しています。

断片的知識から体感・発見を通じて、実行へ

現代のこどもたちは、学校やマスメディアを通じて、ある程度の「環境」に関する知識を持っています。しかし、それらは断片的な知識でしかなく、それを自分たちの身近な生活に結びつけて考え、自発的に実行に移すことは苦手です。

そこで、当社の「こどもエコ・ワークショップ」では、まずお話やクイズを「聞く・考える」ことで、断片的でしかなかった知識を自分の身近なものをつなげてイメージしてもらいます。その後、ゲームや実験などの「体感」を通して、自ら「発見」し、家に帰ってからの日常生活における「実行」を促し、知恵として活かしていただけるよう工夫しています。



第1回（2005年度開催）

テーマ：「動物から学ぼう、すまいづくりの知恵！」

内容：資源保護、自然の大切さについての話
ワークショップ（発電実験）

第2回（2006年度開催）

テーマ：「地球のセーターって、なあに？」

内容：地球温暖化についての話
ワークショップ（エコ・すごろくゲーム）
エコ宣言

第3回（2007年度開催）

テーマ：「家も地球も気持ちいい、暖かさ&涼しさのヒミツを探ろう！」

内容：世界の様々な家についての話
ワークショップ（体感実験） エコ宣言



捨ててしまうバナナの皮で電気がつくれてびっくり。

TVを見る時間を減らします。

緑のカーテンをつくります。

第3回こどもエコ・ワークショップを実施

2007年度は、「自然を活かした快適な住まい方」をテーマに、すだれや霧吹き等の身近な道具を使った実験を行い、「暖かさ」や「涼しさ」を体感。その後、自宅に帰って自分がチャレンジすることを一人ずつ宣言してもらいました。

参加者のご意見

W様

実際に、「見・聞・触」体験ができて、こどもも楽しく学習できたと思います。また、今回のイベントで学んだこと（自然を生かした住まい方の工夫）を今後に活かして生活してみようと思いました。大人にもこどもにも、大変ためになるイベントなので、東京・大阪の2会場だけでなく、会場数を増やして行って欲しいと思います。



講師のご意見

一級建築士「伊藤牧子研究室」代表
「こどものためのオープンハウス」事務局代表

伊藤 牧子氏

太陽の光や熱、風などの自然を活かした暮らしは、環境に優しいだけでなく、私たち住まい手にとっても心地よく楽しいものです。そういったことを多くの人にわかりやすく伝え、環境に配慮した暮らしを自ら創りだすことができる仲間を増やしていくことが、地球環境を守ることに繋がると考えています。今回は、そんな活動と一緒に取り組めたことをとても嬉しく思っています。今後も、建築を担う企業として、サステナブルな建物を提供するだけでなく、環境に配慮した住まい方を普及させるための教育活動に積極的に取り組んでいただきたいと思います。



・こどもエコ・ワークショップ
<http://www.daiwahouse.co.jp/eco/event/>
・環境コミュニケーション 〈P131〉

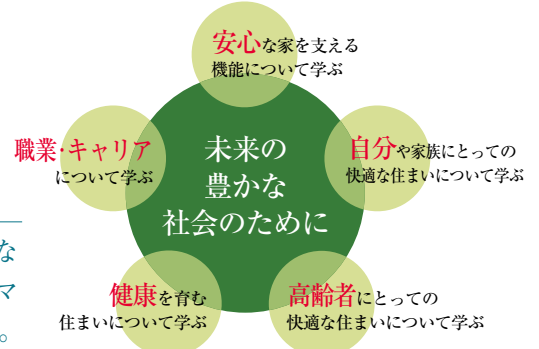
こどもエコ・ワークショップが「第2回キッズデザイン賞（コミュニケーションデザイン部門）」を受賞しました。

特集：教育支援活動

次世代との共創共生「未来の豊かな環境・社会」

「社会問題」に関する学び

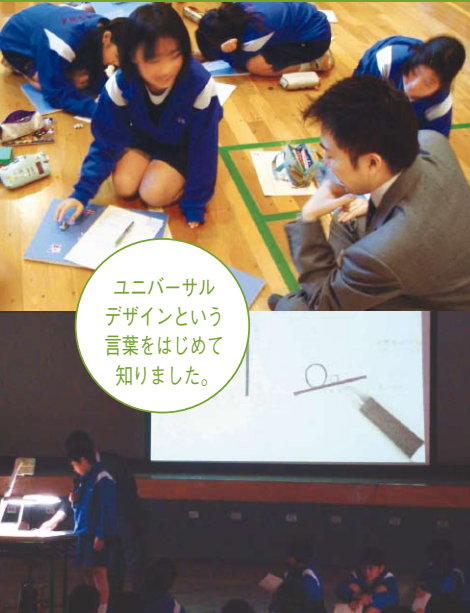
「住教育」は、現代のさまざまな課題(健康、高齢社会、省エネルギーなど)から歴史や文化、ライフスタイルの変遷など、いろいろな学習テーマがあります。それらの課題に対し、「専門家」の立場から伝えていきます。



埼玉県戸田市立喜沢中学校
テーマ:「住環境・住まいのユニバーサルデザイン」

大阪市立東中学校
テーマ:「一番大切な人に捧げる、世界でたった一つの家をつくろう！」

豊島区立朋有小学校
テーマ:「快適な住まいづくり～風通しを考えよう」



社員が学校を訪問し、「住教育」を実施

環境にやさしい住まい方、長持ちする住まい方などを子どもたちに啓発していくことは住宅メーカーにとっての社会的責任の一つと考えます。

当社では専門知識を持った社員が学校を訪問し、住環境に関する授業を行っています。2007年度は延べ22校に訪問し、「住まいのユニバーサルデザイン」「一番大切な人に捧げる、世界でたった一つの家を作ろう」「快適な住まいづくり～風通しを考えよう」などをテーマに授業を行いました。今後は、より多くの社員が参加できるようマニュアルを作成し、さらにわかりやすい授業ができるようレベルアップを図ります。

学校への訪問
延べ22校
(2007年度)

現職務以外の仕事を体験できるチャンス 出張授業の講師として参加

出張授業に参加した理由は、こどものためになるだけでなく、自分の勉強にもなり仕事の幅が広がると考えたからです。実際に参加して、子どもたちの斬新なアイデアに触れることができ、また仕事への誇りを再認識し、非常にプラスになりました。

多くの社員が参加しやすい環境にするには、職場や上司の理解が不可欠ですので、今後も会社側からのバックアップを期待しています。

柏支店 住宅営業所 阿部 文晴



Column キッズニア東京

当社も出展している「キッズニア東京」とは子どもたちがいろいろな仕事にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを学べる職業体験テーマパークです。当社のパビリオンでは、お客様のご要望に応じて内装をコーディネートする「インテリアプランナー」の仕事が体験できます。

また2009年に開業を予定している「キッズニア甲子園」にもパビリオンを出展いたします。



クレストエデュケーションプログラム (コーポレートアクセスコース) に参加

当社は2007年度より「教育」をテーマとしたCSR活動の一環として、(株)教育と探求社が主催する「クレストエデュケーションプログラム」に参加し、一年間を通じて生徒たちの学びを支援しています。

中学校・高等学校
60校参加
(2007年度)

クレストエデュケーションとは

中学生・高校生を対象にした学習プログラムで、従来型の企業内インターンシップを学校の授業カリキュラムとして体験するものです。これは、生徒が実際の企業活動の一端に触れながら、働くことの意義や企業活動についての理解を深めることができます。生徒は数名のチームに分かれ、フィールドワークやアンケート調査などの企業研究を行った後、企業から提示されたミッション(課題)に取り組み、成果発表を行います。2007年度は全国60校の中学校・高等学校が参加しました。

～当社からのミッション～

『史上最も“まっすぐで純粋な家族”をモデルにした、「シリーズCM企画」を提案せよ』



数名のチームに分かれ、ミッションに取り組みます。当社の住宅展示場にて説明を受けています。



チーム内で出た意見をまとめます。

多くの生徒が主体性を持ってプログラムに取り組んでいます。

クレストエデュケーションプログラムの詳細につきましては、株式会社教育と探求社のホームページ (<http://www.eduq.jp/>) からご覧いただけます。

今後の想い

一人でも多くの子どもたちに未来の環境・社会について考えて欲しいと感じています。

小学生から高校生まで次代を担う子どもたちに『住まい』をキーワードとして、「家族とは何か?」あるいは「快適でエコな生活環境とは何か?」といったテーマを一緒に考えていくことが、住宅メーカーである私たちの重要な活動の一つと捉えています。

子どもたちとコミュニケーションを図ることで、逆に気付かされることや学ぶことがあり、それは私たちの人間力アップにもつながります。そういった観点でも『共創共生』を見据えた次世代とのコミュニケーションは今後も欠かせないと感じています。

CSR推進室

内田 雄司



住まいについての最新技術を体感しながら学ぶ「見学施設」

大和ハウス工業には見学施設として、東京・飯田橋の「D-TEC PLAZA」、奈良市の「総合技術研究所」、また各地域の工場があります。共に住まいについての最新技術(免震装置や未来住宅など)を体験しながら学んでいただくことができます。



D-TEC PLAZA (東京・飯田橋)



総合技術研究所 (奈良市)

総合技術研究所 研究開発のテーマ

ア	ス	フ	カ	ケ	ツ
安全・安心	スピード・ストック	福祉	環境	健康	通信
徹底した検証に基づく安全・安心	工業化技術が生み出す高資産価値のストック	利用する人のすべてにやさしく、細やかな提案	心豊かに生きる社会の実現へ、次世代に向けての環境思考	心と体の健康のための住まいの技術	住まいと情報通信技術の融合